

作業療法技術学Ⅲ（感覚統合療法）

【科目名】 作業療法技術学Ⅲ（感覚統合療法）		【担当教員】 小川 友美 (メールアドレス) (オフィスアワー) 来学時に非常勤講師控室にて対応
【授業区分】 専門分野（特論）	【授業コード】 4-26-1025-0-2	
【開講時期】 4 年次・後期	【選択必修】 選択	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】		
(受講者に関わる情報・履修条件) この科目は発達障害領域の臨床で求められる基本的な評価・治療技法を履修しますので、全員の受講が望ましい。		
(受講のルールに関わる情報・予備知識) この科目の学修には発達障害評価学の基礎知識が必須ですので、よく復習をしておいてください。		
【講義概要】		
(目的) 発達障害の治療技術として広く実施されている「感覚統合療法」の内容とその技術の習熟を目的とする。		
(方法) 感覚統合療法の理論と実技を交えた講義を中心とする。		
【一般教育目標(GIO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害児・者の検査方法・評価を理解する。 ・ 感覚統合療法の理論と実際を知る。 		
【行動目標(SBO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害児・者に適切な検査・評価が選択できる。 ・ 感覚統合療法の実際の場面をビデオ等でみる、もしくは現場を体験する。 		
【教科書・リザーブドブック】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を随時、配布します。 		
【参考書】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本作業療法協会 作業療法全書「発達障害」改定最新版、協同医書出版 		
【評価に関わる情報】		
(評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		90						10	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	60							60
	思考・推論・創造の力	30							30
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							10	10

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時 間 (分)
1	・オリエンテーション ・発達障害とは	講義	小児科学の履修内容を復習しておく	15 分
2	・感覚統合とは	講義	生理学の感覚、発達障害評価学の履修内容を復習しておく	15 分
3	・発達障害の評価（臨床観察、JSI-R、JPAN 等）	講義	発達障害評価学の履修内容を復習しておく	15 分
4	・発達障害の評価の実際(VTR 視聴による評価の演習)	演習	発達障害の評価を復習しておく	15 分
5	・感覚統合理論に基づいた治療の考え方	講義	発達障害の評価を復習しておく	10 分
6	・発達障害の治療の実際（治療体験）	演習	感覚統合理論を復習しておく	10 分
7	・症例検討	演習	感覚統合理論を復習しておく	10 分
8	・まとめ	講義	感覚統合理論を復習しておく	10 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。